

年 度 評 價 シ 一 ト

課名 精神保健福祉課

施設の名称：静岡市支援センターなごやか		指定管理者名：医療法人社団リラ
<p>1 履行状況</p> <p>(1) 維持管理業務</p> <p>施設内の清掃等、日常的な維持管理について適切に行われている。</p> <p>建物全体に係る法定点検等については、地域リハビリテーション推進センターが行い、必要に応じて所管部分の修繕等を行うこととなっている。</p> <p>(2) 施設利用者</p> <p>地域活動支援センター事業の延べ利用者数は4,198人で、前年の3,810人を上回ったが、コロナ流行前の令和元年度は5,015人の利用があり、流行前の状況に戻るにはまだ時間がかかる見込み。</p> <p>(3) 事業実施状況</p> <p>概ね事業計画のとおり実施されている。</p> <p>ア 相談支援事業</p> <p>相談件数は3,544件で、前年の3,392件を上回った。令和元年度は2,383件であったため、コロナ流行から大きく件数が伸び、令和3年度も増加傾向にある。</p> <p>イ 地域活動支援センター事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症の予防を行いながら、利用者の希望を取り入れたプログラムを開催している。</p> <p>ウ 退院支援事業</p> <p>退院支援連絡会議の開催(年1,010回)、主な活動としては退院に向けた準備段階から対象者の相談に応じ、関係機関との連絡調整を行っている。</p> <p>エ 地域交流活動</p> <p>当事者会、親の会、市民とともに趣味を楽しむ会等が実施されている。</p>		
<p>2 市民(利用者)からの意見・要望の内容とその対応状況の評価(クレーム対応 等)</p> <p>利用者からの意見・要望については、意見箱を設置し、意見・苦情があった際は、組織的に対応する体制が整えられている。</p> <p>また、利用者とのミーティングを月に1回行っており、意見・要望を積極的に取り入れる体制が整えられている。新型コロナ感染予防の観点から、対応ができない意見・要望に関して利用者に丁寧に説明する等、理解を促している。</p> <p>なお、苦情対応の第三者機関を招へいする案件については発生していない。</p>		
<p>3 市民(利用者)へのアンケートや満足度調査の状況評価</p> <p>利用者アンケートの結果、91.1%の利用者が「満足している」「とても満足している」と回答しており、利用者の満足度は良好と評価できる。</p> <p>(調査期間：令和4年2月1日～2月28日、有効回答者数：45人)</p>		

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務についての收支状況については、概ね予算のとおりに執行されており良好である。新型コロナの影響で、感染予防に関する支出が増えているようだが、利用者の減少やオンラインでの面接・会議等の対応が増え、地域活動支援事業に係るプログラムの材料費やガソリン代等は減少している。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
年年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

施設の維持管理や各種事業の実施状況については、概ね良好に実施されているものと評価できる。

現金や金券当の管理について、令和3年6月に金曜日と土曜日の使用料の振込みが月曜日に行うことができず、火曜日となってしまったことが遅れたことが1度あり、「△一部に問題がある」としたが、施設側と改善案を協議し、その後は振込みの遅延はない。

地域活動支援事業の利用者数が増加となったが、新型コロナウイルス感染拡大前と比較すると低い水準にある。感染拡大の影響が続いていると思われる。

施設における感染対策の対応については当課とも十分に協議しており、令和4年度も引き続き対応していく。

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。